

## 指 定 管 理 者 評 価 シ ー ト

所 管 課	健康福祉部 長寿・保険室 長寿・介護保険課
評価対象期間	平成25年4月1日～平成26年3月31日

施 設	名 称	川西市立養護老人ホーム 満寿荘
	所 在 地	兵庫県川西市湯山台2丁目46番地
	設置目的	老人福祉法第15条の規定により養護老人ホームを設置する。
	利用料金制	非利用料金制・ <u>一部利用料金制</u> ・完全利用料金制
指 定 管 理 者	名 称	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会
	所 在 地	川西市火打1丁目1番7号 ふれあいプラザ3階
指定業務の内容	(1)老人ホームの運営に関すること。 (2)老人ホームの施設及び付属設備の維持管理に関すること。 (3)そのほか、市長が必要と認める業務に関すること。	
指 定 期 間	平成24年4月1日～平成29年3月31日	

評価項目及び評価のポイント	自己評価(指定管理者)		一次評価(市・所管課)		二次評価
	評価レベル	所見	評価レベル	所見	所見
1 施設の設置目的の達成に関する取組み【有効性】	A		A		
(1) 施設の設置目的である事業運営の達成	A		A		
① 事業計画に則って施設の事業運営が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果が得られているか。	A	環境上及び経済的理由により居宅において生活することが困難な高齢者が、「生活の場」として人生を快適に過ごせるように、引き続き生活の質の向上に努めました。営業・広報活動は、措置依頼を受けている各市町のケースワーカーに入所者に関する報告時に、空き状況を伝え入所要請も同時に行いました。	A	①施設の設置目的に則り適切に設置運営が行われています。 ②③施設の性格上、措置者に対して積極的な施設入所者増の働きかけはできませんが、ケースワーカーに施設の空き状況の情報を提供し、入所要請も行われています。	重度の方や精神障害の方がおられ、また二人部屋もあり、対応が大変ですが、その中で病態に応じた食事も提供されており評価できます。
② 利用促進を目的としている施設の場合、施設の利用者の増加や利便性を高めるための取組みがなされ、その効果があったか。	A		A		
③ 施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。	A		A		
改善項目		市の措置入所であり、定員確保には独自の対策が困難ですが、各市町への要請を引き続き継続しています。		施設入所者増のための独自の対策は困難ですが、各市町村への要請や施設情報の提供をしてください。	特にありません。
(2) 施設の利用状況及び事業への参加状況	A		A		
① 施設の目的に則って、有効に活用(利用)されていたか。	A	本来の養護の対象者だけではなく、介護虐待や精神障害者、矯正施設退所高齢者など多種多様にわたる入所要請が増加しています。それらのニーズに適切に対応し受け入れました。川西市以外の入所者を約半数近く受け入れています。	A	①施設の設置目的に則り有効に活用しておられます。 ②介護虐待や障がい者等多様な入所対象者を受け入れておられます。	特にありません。
② 実施された事業への参加者数の増が図られたか。	A		A		
改善項目		湯山台自治会との共催の納涼盆踊り大会や地元幼稚園との交流行事(七夕まつり、運動会)、満寿荘まつり、文化祭などの行事や、地区福祉委員会と協働することで開かれた地域の福祉施設を目指しています。		地域の行事への参加等を通して、自治会や地区福祉委員会と協働し、地域に開かれた福祉施設を目指してください。	

評価項目及び評価のポイント	自己評価(指定管理者)		一次評価(市・所管課)		二次評価
	評価レベル	所見	評価レベル	所見	所見
(3) 利用者の満足度	B		B		
① 利用者からの苦情に対して十分な対応がなされたか。	A	意見箱だけではなく、相談員や支援員などが入所者から直接、苦情や要望を聞きその都度、迅速かつ適切に対応しました。食事については、嗜好調査アンケートを実施し、献立に反映させました。	A	①相談員や支援員などが入所者から直接、苦情や要望を聞いて、迅速に対応して大きなトラブルにつながらないよう取り組まれています。 ②③④食事に関するアンケートを取り、献立に反映させ利用者の満足へつながらよう取り組まれています。	管理運営面でのトラブルへ対処されました。
② 利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られたか。	B		B		
③ 利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。	B		B		
④ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果が得られたか。	B		B		
改善項目		精神疾患や認知症状の進んだ入所者が増えてきており、入所者同士のトラブルによる苦情が増加しています。また、夜間に大声を出したり、居室や廊下で排尿するなど、集団生活に馴染めない入所者が増加しており、2人部屋を1人で使用していただくなど、他の入所者への配慮が必要となっています。		入所者が快適に生活できるよう、部屋の使用人数の対応や夜間に問題行動を起こし方への対応に取り組んでください。	特にありません。
2 効率性の向上に関する取組み【効率性】	A		A		
(1) 経費の節減	A		A		
① 施設の管理運営に関し、経費を効率的に節減するための十分な取組みがなされ、その効果が得られたか。	A	照明を支障のない範囲内で間引き、白熱球や電球型蛍光灯からLED電球に交換する等により、水道光熱費の経費を節減しました。入所者へは、節電・節水の張り紙や行事説明会時に協力要請と啓発活動を実施しました。	A	①②料金の値上がりもある中で水道光熱費を削減するため不要な電気の間引きや、経費の安い電球への取り換えを行っている。また入所者へも節電を呼びかけておられます。	特にありません。
② 指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるような工夫がなされたか。	A		A		
改善項目		照明器具の間引き、電球型蛍光灯からLED電球に交換を行っています。湯山台に移転して約30年となり照明器具のコンデンサーの寿命も近くなっているため、順次LED照明に切り替えて行く必要があります。			特にありません。

評価項目及び評価のポイント	自己評価(指定管理者)		一次評価(市・所管課)		二次評価
	評価レベル	所見	評価レベル	所見	所見
(2) 収入の増加 ※利用料金制を採用している場合のみ評価	A				
① 収入を増加するための具体的な取組みがなされ、その効果が得られたか。	A	各市町に対し措置依頼を行い、積極的に入所者を受け入れましたが、重度化のため他施設への入所や体調不良による長期入院や死亡退所者数が上回りました。	A	①死亡者の増加により退所者が増えましたが、他市町に入所要請を積極的に行っております。	特にありません。
改善項目		措置施設ですので川西市及び他市町に入所要請を積極的に行いましたが、入所にはなかなか繋がっておりません。			特にありません。
(3) 収支のバランスなど ※利用料金制を採用している場合のみ評価	B		B		
① 収支のバランスが適切であったか。	B	各市町福祉事務所からの入所依頼の人数より、退所する人数が上回ったため収入が減少しました。	B	①入所者数より退所者数が上回り、収入が減少しました。	特にありません。
② 経費の効果的、効率的な執行が行われたか。	B		B		
③ 収支の内容に不適切な点はなかったか。	A		A		
改善項目		措置施設のため定員確保が難しく、重度化による他施設への入所や体調不良などで長期入院や死亡退所する入所者が増え収入の確保が難しく、他市町に入所要請を行っています。		①②③入所者数の確保は難しいですが、措置の必要な方を把握した場合は市に相談するなど引き続き入所確保に努めてください。	特にありません。

評価項目及び評価のポイント	自己評価(指定管理者)		一次評価(市・所管課)		二次評価
	評価レベル	所見	評価レベル	所見	所見
3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み【適正性】	A		A		
(1) 管理運営の実施状況	B	入所者の重度化や体調不良等により、介護量が増加しています。業務内容も服薬	B		
① 施設の管理運営には、適切な人員配置がされたか。	B	入所者の重度化や体調不良等により、介護量が増加しています。業務内容も服薬	B	①入所者の重度化等により介護量の増加や、通院者の増加、精神疾患に伴う問題行動や相談等業務内容も多様化している。	特にありません。
② 業務に必要な研修・教育が適切に行われたか。	B	や通院者の増加、精神疾患に伴う問題行動や相談も増えており、看護師、支援員、相談員等の負担が増加しています。また、研修会については、案内を回覧し施設長、チーフの指示により参加しています。	B		
③ 施設の維持管理が適切に行われたか。	A		A		
④ 指定管理者の提案による新たな取り組みは実施されたか。	B		B		
改善項目		精神疾患のある入所者や重度化による医療機関への通院が増えています、入所者の健康及び快適な入居生活を確保するためにも増員が必要です。また、施設の老朽化や経年劣化による修繕箇所が増えています。		入所者のサービスの質の維持のため、職員体制の見直しが必要です。施設の老朽化による修繕については市との協議を踏まえ検討してください。	特にありません。
(2) 個人情報の保護、安全対策、危機管理体制、平等利用など	A		A		
① 施設の設置目的に応じた効果的な利用者への情報提供・広報活動が十分にされたか。	A	年3回の満寿荘だよりの発行及び、月1回の行事説明会に於いて入所生活に必要な情報を提供いたしました。日常の転倒事故防止のために筋力トレーニングを週2回から週3回実施することにより転倒防止、認知症予防に努めました。	A	満寿荘だよりの発行や、行事説明会にて入所者へ必要な情報提供をされました。筋力トレーニングの回数の増加を行い、日常の転倒事故防止に努められました。	特にありません。
② 施設利用者の個人情報の取扱いが適切に行われたか。	A		A		
③ 日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。	B		B		
④ 防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。	B		B		
⑤ 事故発生時や非常災害時の対応が適切であったか。	A		A		
⑥ 利用者を限定しない施設では、利用者が平等に利用できるよう配慮されたか。					
⑦ 利用者が限定される施設では、利用者の選定が公平で適切になされたか。	A		A		
改善項目		毎回参加される入所者が限られています。参加されていない入所者の事故率が高いため、参加者数の増加が課題です。		施設・設備の安全確認及び、日常の転倒事故防止のための筋力トレーニングを引き続き継続してください。	特にありません。

評価項目及び評価のポイント	自己評価(指定管理者)		一次評価(市・所管課)		二次評価
	評価レベル	所見	評価レベル	所見	所見
総合評価	A	<p>介護虐待や精神障害者並びに矯正施設退所高齢者等の入所者が増加しています。各種困難事例の入所者に対して、各福祉事務所、地域包括、病院、家族等と連携を取りながら、適時適切な対応をしています。特に、介護虐待や精神障害者ケースにおいては、過去の実績により他市からの評価も高く、依頼件数も増加していますが、入所者の介護度の重度化や体調不良による退所者数が入所者数を上回りました。</p> <p>要介護者に対しては、介護保険を使い適切なサービス提供を行い、住み慣れた施設での生活が継続できるように支援しました。</p>	A	<p>施設の設置目的を踏まえながら、他市への情報提供を行い、定員が確保されるよう努力されています。介護虐待や精神障がい者等の入所者が増加していく中、各種困難事例の入所者に対して各福祉事務所等連絡先と連携を図りながら適時適切な対応をしていただいています。</p>	<p>他市からの入所者が半分くらいおられるため、他市の福祉事務所とのやり取りは大変だと思います。</p>
改善項目		<p>川西市の施設ですが、入所者の約半数が他市からの措置入所者であり、施設収入を確保するため川西市や他市に積極的に入所依頼を働きかけていきます。施設の老朽化や経年劣化による修繕が今後も増えていくことが予想できるので、計画的な修繕工事が必要です。また、居室が2人部屋となっておりプライバシー保護及び、集団生活に馴染めない入所者が増加しているため、居住棟の建て替え等による個室化の検討は入所環境の改善のために最も必要です。</p>		<p>施設収入を確保するため積極的に関係機関等に働きかけてください。</p>	<p>特にありません。</p>